

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 2 月 25 日
東京電力株式会社

< 1 . 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (2/25 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m ³ /h	14.4	106.3 kPa abs	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 0.0 m ³ /h	23.8	3.46 kPa g	A系： 0.02 vol%
		給水系：約 4.5 m ³ /h			B系： 0.01 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m ³ /h	22.0	0.21 kPa g	A系： 0.08 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

* : 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2 . 使用済燃料プールの状況 > (2/25 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	10.5
2号機	循環冷却システム	運転中	9.6
3号機	循環冷却システム	運転中	8.1
4号機	循環冷却システム	停止中	13.0 *

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

* 所内電源トラブルに伴い、4号機使用済燃料プール代替冷却システム二次系停止中。

・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。

・H26/2/24 10:33 6号機補機冷却海水系を全台停止することに伴い、使用済燃料プール冷却系を停止。使用済燃料プール冷却系停止時の使用済燃料プール水温度は 16.7℃。12:41、残留熱除去系A系による非常時熱負荷運転(使用済燃料プール冷却)を開始。13:10の使用済燃料プール温度は 17.3℃。使用済燃料プール冷却系停止時(～2/28)における使用済燃料プール水の温度上昇率評価値は 0.4℃/h。その後、6号機残留熱除去系A系(非常時熱負荷運転中)の系統水の一部が圧力抑制室に流れていることを確認したことから、19:08に残留熱除去系A系を停止し、B系の起動準備。残留熱除去系A系からB系への切り替えに伴い、漏えい箇所を調査したところ、残留熱除去系ポンプ吸込ライン(A系、B系共通ライン)にある安全弁から系統水の一部が圧力抑制室に流れている可能性が高いことから、B系の起動は実施せず。

H26/2/25 1:28 残留熱除去系A系による非常時熱負荷運転(使用済燃料プール冷却)を再開。再開時の使用済燃料プール水温度は 19.5℃。15:52、補機冷却海水系の復旧が終了し、使用済燃料プール冷却系の運転に切り替える準備が整ったため、残留熱除去系A系による非常時熱負荷運転を停止。残留熱除去系A系による非常時熱負荷運転停止時の使用済燃料プール水温度は 19.0℃。また、17:00頃を目途に、使用済燃料プール冷却系の運転を再開予定。

・H26/2/25 9:40頃 所内の電源設備(所内共通メタクラ1A、2A、3A、4A、共用プールメタクラA系、所内共通ディーゼル発電機メタクラA系において、地絡警報が発生。9:45頃、4号機使用済燃料プール代替冷却系二次系のエアフィンクーラB系が停止し、当該プール冷却は停止。冷却停止時の当該プール水温度は 13.0℃であり、冷却停止時の温度上昇率は 0.29℃/h。9:52頃、焼却工作建屋とプロセス主建屋の間の道路掘削工事において、誤ってケーブルを傷つけたとの情報あり。当該電源設備の電圧値に異常はなく、電源の供給は継続しており、主要設備については、4号機使用済燃料プール代替冷却系二次系以外は異常ない。4号機使用済燃料の取り出し作業については、燃料取り出し作業前であり、念のため 10:19に作業を中断。所内の電源設備の地絡警報発生について、10:21に誤ってケーブルを傷つけた箇所に電源を供給している電源設備(プロセス建屋常用メタクラ)のしゃ断器を開放し、地絡警報はリセット。ケーブルの損傷箇所が特定されたことから、損傷したケーブルを使用しないルートで4号機使用済燃料プール代替冷

却系(二次系)へ電源を供給。ケーブルの損傷により4号機使用済燃料プール代替冷却系二次系は停止していたが、電源の復旧が終了し、13:54 から 14:16 にかけて4号機使用済燃料プール代替冷却系二次系を起動。運転状態に異常はない。4号機使用済燃料プール水温度は停止時の 13.0℃から 13.1℃に上昇したが、運転上の制限値 65℃に対して十分余裕がある。なお、今回のケーブル損傷により、4号機使用済燃料プール代替冷却系二次系機器の電源の供給が1系統となったことから、念のため4号機使用済燃料プール代替冷却系二次系機器に電源供給できるよう、ディーゼル発電機を準備。中断していた4号機使用済燃料の取り出し作業は、14:36 に再開。

また、焼却工作建屋とプロセス主建屋間の掘削工事におけるケーブル損傷箇所では、発火し煙が出ていたが、電源設備(プロセス建屋常用メタクラ)のしゃ断器の開放および消火器による消火により収束。消防署へは、10:30 に連絡。11:52 消防署より火災ではないと判断。

- ・H26/2/25 10:15 5号機サプレッションチェンバー側吸込ストレーナの健全性確認を行うため、残留熱除去系B系については原子炉停止時冷却モードを停止。原子炉水温度は 33.5℃。現在、残留熱除去系A系は点検停止中のため、B系停止により全系停止となる予定。2/25 5:00 時点の5号機原子炉プール水温度は 33.6℃であり、原子炉停止時冷却モード停止中の原子炉水温度上昇率は 0.5℃/hで停止中の炉水温度上昇は約4℃と評価されることから、運転上の制限値 100℃に対して十分余裕があり、原子炉水温度の管理上問題ない。

< 3 . タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	3号機タービン建屋	2/22 10:37 ~ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容処理建屋[高温焼却炉建屋])	1/24 14:37 ~ 移送実施中

< 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (2/25 11:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	除染装置	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)	多核種除去設備(ALPS)
運転状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5 . その他 >

- ・H26/2/26 1号機原子炉建屋3・4階について、被ばく線量低減に配慮した上で、「シェル壁・プール壁」を中心にビデオカメラの撮影を実施する状況調査を実施予定。
- ・H26/1/29~ 凍結管を設置するための削孔については、掘りあがった温度測定用の孔にカメラを挿入して、トレンチ内部状況を再度、慎重に確認したうえで削孔開始することとしていたが、トレンチ内部の状況が確認できたことから、凍結管を設置するための削孔を実施中。
- ・H26/2/25 海側遮水壁工事(港湾内)における遮水壁内側の埋め立てにより、2号機スクリーン室前面に設置したシルトフェンスを撤去。
- ・H26/2/25 15:30 頃 ふれあい交差点近傍の給油所において、作業員がドラム缶から給油器へガソリンを移送した後に、ポンプに付着したガソリンの拭き取りをしていたところ発火し、作業員が着用していたカバーオール前面の一部に引火。作業員に火傷等のけがおよび汚染はない。16:53、消防署へ一般回線にて連絡。

【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

< トピックス >

- ・H25/12/10 10:10~ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

< タンクエリアパトロール実績(2/24) >

- ・高線量当量率箇所(+ 線(70µm線量当量率))は確認されず。

- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと（漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く）を確認。
- ・汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

< H 4 エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況】

< トピックス >

- ・1,2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は
2/25 0:00 時点で約 8,335m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

< 地下水観測孔サンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 移送関係 >

- ・2,3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・H25/12/11～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。
- ・H26/1/29～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.1-16 で高い濃度の全ベータが検出されていることから、当該観測孔近傍に設置した地下水汲み上げ用の孔(No.1-16(P))からの地下水の汲み上げを適宜実施中。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

< トピックス >

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。
- ・H26/1/30～ 地下貯水槽 No.1～3 における貯水槽内部の残水について、H1 東エリアタンクへの移送を適宜実施。

< 地下貯水槽サンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以 上